

\*\*\*\*\*

# LactPren (らくとふれん)

～農業体験・環境教育から学ぶ地域連携～

\*\*\*\*\*

## 第1章 プロジェクトの概要など

### 1. プロジェクトの名称

LactPren とは、「地域の活性化と環境保全」のフランス語訳である、L'activation et la Protection de l'environnement の下線部分(L'act + Pr + en)を用いた造語である。

### 2. 本プロジェクトの目的

#### 【実践的活動を通じた地域連携】

京都市伏見区深草地域および京都市北区小野郷地域を中心に活動し、学生を主体として、地域の人々や諸団体と連携・協力しながら、環境整備活動や農業体験を通して地域貢献を目指す。

近年の学校教育では、学校・家庭・地域の連携が重要視されているが、地域との関わりの希薄さという点において課題は多い。私たちは、将来教師として地域と連携することを想定しながら、地域において農業体験や環境整備活動等の実践的な活動に取り組み、様々な立場の人々との交流を通して、学校と地域との連携について考察する。

小野郷地域においては、米や野菜を育て収穫するという生産の過程を学ぶと同時に、地域の方々と協力して作り育てることの喜びを体感する。深草地域においては、大岩山の環境整備活動を通して地域連携について考察する。

### 3. 代表者および構成員

#### ・代表者

弘田 真基 社会領域専攻 4 回生

#### ・構成員

小川 大地 社会領域専攻 4 回生

奥田 大揮 社会領域専攻 4 回生

坂口 諒	社会領域専攻	4 回生
阪田 裕二郎	社会領域専攻	4 回生
中川 孝太朗	社会領域専攻	4 回生
平野 拓朗	社会領域専攻	4 回生
松田 良子	社会領域専攻	4 回生
山中 翔太	社会領域専攻	4 回生
天羽 敦子	社会領域専攻	2 回生
片淵 裕紀	社会領域専攻	2 回生
岸田 茉莉	国語領域専攻	2 回生
山崎 美紅	社会領域専攻	2 回生
山本 龍也	教育学専攻	2 回生
植原 莉子	社会領域専攻	1 回生
弘田 敏基	教育学専攻	1 回生

### 4. 助言教員

武田 一郎 先生 (社会科学科)

石川 誠 先生 (社会科学科)

A. オーバーマイヤー 先生(英文学科)

### 5. 協力団体

NPO 法人 京都北山悠悠自然塾

NPO 法人 深草ふれあい隊 竹と緑

京都市伏見区深草支所

ふかくさ自然環境再生ネットワーク推進委員会

立命館大学「シチズンシップ・スタディーズ I」

受講生

## 第2章 内容や実施経過など

### 1. 活動地域についての概要

#### (1)京都市北区小野郷

小野郷は、京都駅からバスで1時間程度の距離でありながら、山間部を流れる清流や美しく整備された北山杉や季節によって様々な様子を見せる森林などが生い茂る森林、澄んだ空気という魅力的な環境をもつ地域である。小野郷地域と大森地域から構成され、農林業については大森地域で、朝市については小野郷地域で行う。

現在、小野郷は高齢化や若年層の人口流出、それに伴う山野の荒廃や休耕地の増加などの問題を抱えている。平成 29 年 7 月 1 日現在の世

帯数は 135、人口は 254 人(男性 115 人、女性 139 人)で、人口はこの 20 年間でほぼ半減している。京都市立小野郷小・中学校は平成 19 年より閉校となり、近隣の小・中学生は約 11km 離れた京都市立高雄小・中学校(右京区)に通っている。

活動にご協力いただいている NPO 法人京都・北山悠悠自然塾では、休耕地を活用した農業体験学習や林業体験学習、朝市での物産販売などを行い、世代や地域の枠を超えた交流を図っている。

平成 22 年度より LactPren が「e-Project @kyokyo」に応募し、農業体験を通して地域の活性化や地域の人々との関わりについて考える活動を行ってきた。今年度も小野郷地域で農業体験や林業体験を通じた地域連携に目を向けた活動を行った。

## (2)京都市伏見区深草

本学の東に、大岩山(標高 182m)が伏見区と山科区にまたがり位置する。以前から産業廃棄物をはじめとする不法投棄が問題となっていたが、平成 20 年度に伏見区役所深草支所、NPO、大学生、地域住民等が協力し、廃棄物の回収を行った。

平成 21 年には、深草の大岩山周辺地域を二度とごみ山に戻さないとの決意から、地域住民や大学等教育機関、NPO 法人、農協、関係機関等で「ふかくさ自然環境再生ネットワーク推進委員会」が設立され、深草トレイルの開設や大岩山展望所の設置、継続した一斉清掃や竹林整備等の取り組みを行っており、本プロジェクト所属の学生数名も、学生委員として参加している。

また、近年は深草トレイルの開設に伴い、外国人観光客も増加しており、昨年度は深草トレイルに外国語表記を追加した。

## 2. 活動内容および実施経過

### (1)田植え

日時：平成 29 年 4 月 29 日

参加場所：京都市北区大森

NPO の方々にレクチャーを受け、参加者と学生がペアになり、稲苗の手植えを行った。今年度は、昨年度の倍以上の約 50 名の方々にご参加いただくことができた。昼食後には、子どもたちと清流で生き物探しや水遊び等も行った。



### (2)大岩山の竹林整備

日時：平成 29 年 5 月 10 日、7 月 18・19 日

参加場所：大岩山(京都市伏見区)

深草支所や地域住民の方々と連携し、荒廃竹林の整備活動を行った。参拝者や利用者がより心地良く過ごすことができるように、竹林の伐採を行った。また、老朽化した池の転落防止柵の補修も併せて行った。



### (3)サツマイモの苗植え

日時：平成 29 年 5 月 21 日

参加場所：京都市北区大森

藤陵祭で販売するサツマイモ(鳴門金時と安納芋の 2 種類)の苗植えを行った。

堆肥を撒いた後、耕運機を使いながら畝を造り、苗を植え、水を撒いた。



#### (4)北山杉の間伐体験

日時：平成 29 年 7 月 30 日

参加場所：京都市北区大森

直径 12cm 程度の台杉(北山杉に固有の種類で、一つの株から複数の幹をのばす)をチェーンソーで伐採し、皮をむき、組み立てて乾燥させた。また、NPO の方々から、間伐の重要性や林業の現状などについてご講義をいただいた。



#### (5)夏季合宿研修

日時：平成 29 年 8 月 28・29 日

参加場所：京都市北区小野郷・大森

NPO 協力の下、藤陵祭で販売する野菜(大根・白菜・人参)を植えるとともに、地域交流を深めた。昨年度と同様に、現在休校となっている京都市立小野郷小中学校に宿泊した。

休耕地に堆肥を撒き、トラクターで耕し、畝を作り、種を播き、マルチシートを被せる一連の作業を NPO の方々に指導していただきながら、学生が主体的に行った。



#### (6)稲刈り

日時：平成 29 年 9 月 3 日

参加場所：京都市北区大森

田植えの参加者とともに、稲刈りを行いながら交流を深めた。鎌を用いた手刈りとコンバインの操作とを行った。



#### (7)芋掘り

日時：平成 29 年 10 月 29 日

参加場所：京都市北区大森

5 月に植えたサツマイモを収穫した。収穫したサツマイモは天日に晒し、11 月に藤陵祭で販売する。なお、サツマイモは天日に晒すことで甘みが増す。



#### (8)野菜の収穫

日時：平成 29 年 11 月 8 日

参加場所：京都市北区大森

夏季研修合宿で種を播いた野菜を収穫した。





### (9)藤陵祭

日時：平成 29 年 11 月 10～12 日

参加場所：本学

小野郷で栽培した野菜とそれらを使った大根煮、スイートポテトを販売するとともに、小野郷や深草での活動の PR を行った。



### (10)朝市

日時：平成 29 年 12 月 3 日

参加場所：京都市北区小野郷

小野郷の休耕地で作った野菜を NPO 主催の朝市で販売し、地域の方々と交流した。小野郷地域の方々だけでなく、通りがかりの方々にも好評をいただいた。例年の開催を楽しみに足を運んでくださる方も多く、昨年度よりも活動について広く知っていただいたように思う。



### (11)小野郷環境整備活動

日時：平成 29 年 12 月 9 日

参加場所：京都市北区小野郷

10 月下旬の台風 21 号により、小野郷では電気の遮断や建物の破損などの被害が出た。ライ

フラインは約 3 日で復旧したが、道路や山野の荒廃状況は続いた。そのため、地域住民と学生とで連携し、小野郷ー大森地域間での原状復帰と環境整備を行った。



## 第 3 章 結果や成果など

### 1. 京都市北区小野郷での活動について

昨年度に引き続き、田植え、サツマイモの苗植え、夏季合宿研修、野菜の収穫、間伐、と農林業の体験を中心に活動を行った。耕運機やトラクター、チェーンソー等を使用する機会は、普段の生活では得難いものである。社会科では、産業についての学習で、農業や林業を扱う。卒業後には、教科書の知識を教えるだけでなく、本プロジェクトで得た体験を授業に取り入れ、児童生徒の豊かな学びにつなげたい。

朝市や藤陵祭では、毎年開催を楽しみに来て下さる方々が年々増え、NPO と我々の活動が少しずつ知られていることを実感することができた。小野郷で農林業を経験しながら、地域の人々と連携し、地域の在り方を考える時間は、メンバーにとってかけがいのない、大変価値のあるものであった。

### 2. 京都市伏見区深草での活動について

大岩山では、深草支所と連携しながら、荒廃した竹林の伐採を行い、参道の環境整備を行った。整備前に比べ、参道に日光が多く差し込み、参拝者や観光客が心地良く利用できるようになったのではないかと思う。近年の観光客の増加に伴い、伏見稲荷大社から足を延ばし、深草トレイルを利用される方も増加している。本プロジェクトでの活動を通して、大岩山の地域資源としての価値を高めるとともに、地域の望ましい在り方について考えさせられる機会となった。

#### 第4章 まとめと反省、今後の展望など

朝市や藤陵祭を通して、地域の方々と関わる中で、本研究の取り組みに対する認知度が向上していることを実感することができた。また、今年度は、立命館大学とも連携を開始し、小野郷での活動に共同で参加することができた。来年度以降も継続し、活動を充実させることができればと思う。

昨年度まで研究対象に含んでいた【学校における食教育の考察】に関しては、長年に亘りご協力をいただいていた深草地域の NPO の方が退職されたこと、2 年間の区民事業を無事修了できたことを理由に、今年度は残念ながら休止した。【学校における食教育の考察】については今後、活動目的や内容も含めて検討していきたい。

来年度以降も、これまでの実践的な活動を継続・発展させることに尽力したい。また、公立学校等をはじめ、地域連携の在り方についての考察をさらに深め、より活動を広く周知してもらえような試みを行いたい。

#### <参考・引用文献>

前年度までの活動については、本学 HP を参照。

- ・ LactPren 公式 Twitter @LactPren
- ・ NPO 法人 京都北山悠悠自然塾 HP  
<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/satomi-f/index.html>
- ・ NPO 法人 深草ふれあい隊 竹と緑 FB  
<https://www.facebook.com/taketomidori/>
- ・ 市民農園風緑  
<http://www.kyoto-kazamidori.com/index.php>
- ・ 京都市統計ポータル 住民基本台帳、町別人口  
<https://www2.city.kyoto.lg.jp/sogo/toukei/Population/#chobetu>
- ・ 京都市北区役所 HP 「わたしの町北区 小野郷学区だより」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/kita/page/0000056123.html>
- ・ 京都市北区基本計画「自然と調和した住み良い北山三学区の創造」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/kita/page/000009371>

#### [8.html](#)

- ・ 京都市伏見区深草支所 HP  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/fushimi/category/150-2-2-0-0-0-0-0-0-0.html>
  - ・ 京都市立小野郷小中学校 HP  
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/onogo-s/>
  - ・ 北山三村 小野郷 HP  
<http://kitayama3.jp/onogo/>
- (最終閲覧：平成 30 年 1 月 17)

